

# 外来語「スマート」の語義について

中道知子

## Meaning of The Loanword “sumaato”

NAKAMICHI Tomoko

### 要旨

外来語「スマート」は、その使用例や類義語から見ると、〈形が細くて美しい〉という意味要素を持っていると考えられる。この意味は、「スマート」の原語である英語“smart”にはない語義である。本稿では、現代日本語における「スマート」について、原語とのずれに意を用いつつ、語義分析を施した。

### 目次

- 1 国語辞典の語釈について
- 2 類語辞典における扱いについて
- 3 新聞記事の用例について
- 4 原語“smart”の語義との関係について
- 5 結論：「スマート」の位置付け

## 1 国語辞典の語釈について

### 1-1 資料

「スマート」について、現行国語辞書の語義記述は、下記のようにになっている。

『三省堂国語辞典』 第五版 (2001)

- ①態度や服装が、洗練されているようす。しょうしゃ (瀟洒)。
- ②からだのつきあいがとれていて、すらっとしているようす。「—な体型」
- ③すばやく、むだがなく感じのいいようす。「—に行動する」

『学研国語大辞典』 (1978)

- ①〔現代風で〕洗練されているようす。気がきいているようす。あかぬけしているようす。  
(参) 明治・大正時代の「ハイカラ」に代わって、昭和に入ってから使われだした語。「東

京の芝居や音曲にはさすが江戸人のきびきびした一な気風が出ているのに、〈谷崎」・蓼食う虫〉「あなたの書くものが、あんなに一で抵抗が少ないのは、あなたの生き方がそ  
うだからですわ〈中村真・天使の・・・〉」

②からだつきやものの形がすらりとして美しく、格好がよいようす。「デンマークの四千  
トンほどの白い一な客船と行きあったが、〈北・どくとる・・・〉」▽英 smart  
『岩波国語辞典』第六版

こざっぱりして、しゃれているさま。粹。また、からだつきが、すらりとしているさま。  
態度が洗練されているさま。

『広辞苑』第四版

①からだつきや物の形が細くすらりとして格好がよい。「一な車体」

②身なりがととのって粹なさま。気のきいたさま。颯爽。

『新明解国語辞典』第四版

①身だしなみがよく、しゃれている様子。

②スタイルがよく、見た目に好感を与える様子。

『大辞林』第二版

①からだつきがほっそりしていて格好がよいさま。「一な体型」

②手際がよく、しゃれているさま。「やることが一だ」「一服装」

『日本国語大辞典』第二版

①動作・行動などが、気がきいていて手ぎわの良いさま。

②服装や着こなしが当世風で垢抜けしているさま。

③姿や形がすらりと引き締って格好が良いさま。

『明鏡国語辞典』初版

①体つきや物の姿がほっそりと美しいさま。「一な体つき」

②洗練されているさま。「一な身のこなし」

## 1-2 検討

国語辞典の語釈を検討すると、「スマート」は次の3つの場合に使われる語とされているよう  
である。

①物の形や人の体形について、〈細く美しい〉<sup>註1</sup>という意味。

②形そのものではなく、外見の全体的な評価として、〈洗練されている。しゃれた感じである〉  
という意味。

③行動やもののやり方に対する評価として、〈洗練されている。気がきいている〉という意味。

この①と②は、外見についての言及という点で共通性がある。

## 2 類語辞典における扱いについて

### 2-1 どのような意味分野に分類されているか

「スマート」は『類語大辞典』において次の3つの意味分野に分けられている。

#### 1 「さばける」分野

<2908 さばける>分野の形容動詞の分類に入っている。これは、「気の利いた」と同じ類である。

2908d08スマートな : 気が利いて、あかぬけしている様子。「～に行動する紳士」

#### 2 「細い」分野

<7601 細い>分野の形容動詞の分類に入っている。これは、「細やかな」と同じ類である。

7601d16スマートな : 体つきや物品の形などが、すらりとしていて格好がよい様子。「彼はダイエットをしてくださる～になった」「～なデザインの電気スタンド」

#### 3 「美しい」分野

<8202 美しい>分野の形容動詞の分類に入っている。これは、「優形の」と同じ類である。

8202d30 スマートな : 体つきがすらりとしていて、格好がよい様子。「お客様のよう～な体形の方は、何を着てもお似合いです」◇「スマートな船体」のように、物についてもいう。

### 2-2 <気が利いたやり方>と<細く美しい>

上で見た類語辞典の分類から考えると、「スマート」は、外見について使う場合には、[細い]<sup>注2</sup>と[美しい]という2つの意味要素を含んでいる。一方、行動や動作については、<気が利いたやり方>という意味を持つ。

## 3 新聞記事の用例について

『朝日新聞記事』を利用して、「スマート」の使用例を採取したところ、次のようであった。

2003年1月1日～12月31日のデータで、「スマート」が用いられている用例96例について検討した。そのうちで、物の形そのものをとりあげて、細いという意味で用いられていると認められる用例は、31例であった。これは、全体の約3分の1である。その用例を下に掲げる。

(1) まずは、腕時計用に22ミリのアンテナを開発した。もっと小さく、スマートにしたいと、性能はそのままに16ミリにまで下げた。(2003年10月04日 夕刊 科学2 006 東京)

(2) 全長70センチほどで日本産ウ類では最小。首が細くスマートに見え、くちばしも細い。(2003年09月13日 朝刊 1総合 001 東京)

(3) 着た人がスマートに見える着物にこだわるといふ樋口さんらしいシンプルな作風

だが、(2003年09月03日 朝刊 新潟2 026 東京)

(4) 「とにかくすらっとしてスマートに見える選手には惹(ひ)かれませんか」(2003年07月09日 朝刊 栃木1 031 東京)

(5) テレビは今、日々の暮らしになくてはならない。ランドセル姿さながらの出っ張った形は薄くスマートになり、(2003年01月01日 朝刊 新年特集別刷51 041 東京)

(6) インド伝来の神はエキゾチックで、腰が締まったスマートな体形(2003年12月01日 夕刊 2社会 018 東京)

(7) いかにも家電家電した武骨なブラウン管テレビの代わりにあのスマートなテレビがお部屋にあったら、なんだかうれしいじゃありませんか(2003年11月28日 週刊 週刊朝日 032 東京)

(8) 滝野川ごぼう、細く長く栽培中「葉っぱは大きいのに、スマートなごぼうだなあ」(2003年11月14日 朝刊 東京1 035 東京)

(9) 他の修理工が夏季休暇で帰郷する中、泰石はとどまり、スマートな姿で古い様式をよく残す大黒天立像(183・5センチ)＝写真＝を5分の1の大きさに模刻。(2003年11月07日 朝刊 鳥取2 029 大阪)

(10) 背丈が1メートルほどにもなるキクの仲間のアキノノゲシもそのひとつ。とてもスマートな形の植物で、三瓶山一帯では特に多い(2003年10月31日 朝刊 島根2 033 大阪)

(11) 初めて称名滝に行った。「日本一の落差」から大迫力の滝を想像していたが、実際は繊細でスマートな滝だった。(2003年10月21日 朝刊 富山1 035 東京)

(12) JR信越線の長岡ー直江津間で34年ぶりにSLが復活した。同区間では、69年までC57型の「急行日本海」が運行。そのスマートな形から「貴婦人」との愛称で親しまれた。(2003年10月15日 朝刊 新潟1 031 東京)

(13) プールの中で銀色に輝くスマートなアユを見ながらそう語る。(2003年08月22日 朝刊 長崎2 026 西部)

(14) プレーリードッグ(中略)巣穴から出ている姿は、前からは少しポテッと、横からはスマートなので、何だか不思議な印象を受けます。(2003年08月08日 朝刊 徳島2 025 大阪)

(15) ズッシリケーキは幻の味(満腹ニッポン 記憶の食景)「こんなスマートなケーキじゃなかったね」(2003年07月27日 朝刊 1家庭 031 東京)

(16) 江戸の風情を伝える屋形船。スマートな船体とサービスが人気のクルーズ船。(2003年07月10日 夕刊 マリオン1 005 東京)

(17) つぶらな瞳、顔から首にかけての赤、胸の白、翼と背中の中黒、スマートな体つき。(中略)ツバメという鳥は、かなり美しい。(2003年07月09日 夕刊 マリオン2 006

東京)

(18) 細長いスマートな体におちょぼ口がトレードマークで、パールピンクの魚体がとても美しいキスが旬の時期を迎えました。(2003年06月18日 朝刊 静岡2 034 東京)

(19) テレビ映えするスマートな体躯(たいく), (2003年05月11日 朝刊 読書2 012 東京)

(20) そごう大阪店は、37年完成。8階建て、高さ43メートル。縦の直線でスマートな美しさを求めた「構成主義」と呼ばれるデザインで、(2003年04月19日 夕刊 2社会 012 大阪)

(21) シコ名は何とあったか、上背も豊かで脚が長くスマートな好力士だった。(2003年02月24日 夕刊 文化 010 東京)

(22) 入江さんは「丸っこい体形で、どちらかという西郷隆盛タイプだった私と比べると、スマート」という。(2003年11月14日 朝刊 山口2 026 西部)

(23) 「昔はもっとスマートだったから」と照れくさそうに話す趣味は、大学時代からやっているサッカー。(2003年10月30日 朝刊 大分2 034 西部)

(24) アテラちゃん=写真=(注:ナポリタン・マスティフ)は1歳半ですが、体重は55キロになりました。まだスマートで、すっきりした顔の甘えん坊です。(2003年10月09日 夕刊 2総合 002 名古屋)

(25) アヒルは(中略)現在の52羽は「エリート」の子孫たちで、普通より少しスマート。(2003年10月04日 朝刊 大分1 027 西部)

(26) イギリス原産のスマートで格好のいい小型犬です。(2003年10月02日 夕刊 2総合 002 名古屋)

(27) 確かに三角のつり上がった目、とがった口に膨らんだおでこ、短毛でやや短足、太短いしっぽとお世辞にもスマートとは言えませんが、可愛らしいですよ。(2003年05月29日 夕刊 2総合 002 名古屋)

(28) お世辞にもスマートとはいえない我が幅広の足をどれほど恨めしく思ったことか。(2003年05月21日 朝刊 1家庭 019 西部)

(29) スマートで立体感豊かなスタイル画、(2003年02月27日 朝刊 朝刊文化 032 東京)

(30) 国産旅客機YS-11が、(中略)札幌丘珠~根室中標津便のルポを書いた杉崎行恭は、スマートさとはほど遠い外観を「実直そのもの」と評した。(2003年02月21日 夕刊 夕刊読書 012 東京)

(31) スマートで薄く透き通った美しいワカサギ(キュウリウオ科)が、(2003年02月06日 朝刊 熊本2 026 西部)

本節の用例でわかるように、「スマート」は、物の形のみをとらえて〈細く美しい〉と評価する語義を強く持っている。

#### 4 原語 “smart” の語義との関係について

ここまでで見たように、「スマート」は〈細く美しい〉という意味特徴をもっている。しかし、この点で、「スマート」は原語である “smart” とは大きく異なる。このことは、「スマート」を英語と対照させている辞書に表れている。

##### 4-1 プレム・モトワニ 『日常外来語用法辞典』

Sumato スマート

(i) Slim;Slender;Sharply

節食 [sesshoku] して~になる become slim by dieting

(ii) Smart;Sharp (witty person)

~しぐさ smart mannerisms ~なやりかた sharp (effective) manner of doing things

(iii) Elegant;Sophisticated;Fashionable

~な家具 [kagu] elegant (fashionable) furniture

~な服装 [fukuso] をする be dressed smartly

上記の (i) では、人の体形について、外来語で「スマート」というところを英語では “smart” は使われないということを示している。

##### 4-2 研究社『新和英大辞典』

sumato スマート smart;stylish;spruce;《仏》chic.

~な服装をしている be smartly dressed;be dressed in good style.

実に~な身なりだった。He looked as if he had just come out of a bandbox.

ここでも、人の体形そのものには “smart” は使われていない。

##### 4-3 Longman Dictionary of Contemporary English (New Edition 2003)

###### 1 INTELLIGENT

(especially American English) intelligent or sensible

-synonym clever

-opposite stupid

The smart kids get good grades and go off to college.

I was smart enough to wait for a week..

His decision to become a director was a smart move (=sensible thing to do).

###### 2 DISRESPECTFUL

trying to seem clever in a disrespectful way

Don't get smart with me, young man.

He made some smart remark.

### 3 NEAT

(British English)

a) a smart person is wearing neat attractive clothes and has a generally tidy appearance

American Equivalent: sharp

-opposite scruffy

You're looking very smart .

b) smart clothes, buildings etc are clean, tidy, and attractive

American Equivalent: sharp

a smart black suit

smart new offices

### 4 FASHIONABLE

(British English) fashionable or used by fashionable people

one of Bonn's smartest restaurants

### 5 TECHNOLOGY

smart machines, weapons, materials etc are controlled by computers and are designed to react in a suitable way depending on the situation

-see also smart bomb smart weapons

6 the smart money is on somebody/something

used to say that a particular person or thing is likely to do something or be successful

### 7 QUICK

(British English) a smart movement is done quickly, especially with force

a smart blow on the head

She set off at a smart pace (=fairly fast).

ここで、外見について使われているのは、3と4であるが、人の体形などの形そのものではない。

#### 4-4 検討

英語の“smart”には、＜人の体形や物の形が細くて美しい＞という意味はない。“smart”は、この語を人や物の外見についての言及として用いる場合は、人についてはその衣服、物については色柄造作などを含めた、いわば全体像についての評価として用いるようだ。

また、「スマート＝＜人の体形や物の形が細くて美しい＞」の類義に当たる英語を求めると

“slim”, “slender”がある。該当する外来語「スリム」, 「スレンダー」の用例を, 同じように朝日新聞記事に求めると, その出現数だけを比較すると下記ようになる。

「スリム」: 1984年15件, 1994年211件, 2003年451件

「スレンダー」: 1984年0件, 1994年4件, 2003年6件

この状況から, 「スリム」が最近約20年間に外来語として急速に普及していったこと, 一方「スレンダー」の方は, 外来語としての定着度が未だ低いことが見てとれる。

## 5 結論: 「スマート」の位置付け

『学研国語大辞典』に, 「明治・大正時代の「ハイカラ」に代わって, 昭和に入ってから使われだした語」という説明がある。〈西洋風で, 洗練されていて, しゃれた様子〉という意味で用いられたものだと考えられる。そこで指し示されるもの, すなわちレファレントが外見として「格好良く」見えるとき, それは同時に「細くて美しい」という要素をともなっており, そのことが独立した結果, 人の体形や物の形が「細くて美しい」場合に, そのことを特に言い表す語として「スマート」が用いられるようになったと思われる。その意味で, 外来語「スマート」の語義のうちの原語“smart”にはないこの語義は, メトニミー的作用によって生じた語義だと考えるのが適当であろう。

すなわち, 1-2で述べた3つの語義のうちで, 「②形そのものではなく, 外見の全体的な評価として, 〈洗練されている。しゃれた感じである〉という意味。」と「③行動やもののやり方に対する評価として, 〈洗練されている。気がきいている〉という意味。」は原語“smart”から引き継いだものであるが, 「①物の形や人の体形について, 〈細く美しい〉という意味。」は日本語の中で, メトニミー作用によって独自に発達した意味であろう。

また, LONGMAN にあげられている, アメリカ英語“clever”の同義とされる意味については, 外来語「スマート」の意味としてはまったくといえるほど引き継がれていない。

今後, 「スマート」の用法がどのように変化していくかについて推測すると, 一つには「スリム」の急速な普及によって, 形の細さと美しさだけを表現する場合には「スリム」がとって代わることも考えられる。その場合には, 「スマート」の受け持ちは, 外見と行動の両方について, 全体的な洗練された美しさを評価することになるだろうか。一方, 現在は, 商品名などの固有名詞としてしか用いられていない用法として, 〈役に立つ, 効力が優れている〉という意味があるが, この用法に慣れることによって, “clever”に該当する意味が, 独立した形容語句として発達する可能性も捨てきれない。

「スマート」は外来語の中でも安定してなじみのある語であるが, その用法について考えると, まだ変化の可能性を内包しているのではないだろうか。

(2004年9月25日受理)



注1 < >は意義素を表す記号として用いる。

注2 [ ]は意義素を構成する意義特徴を表す記号として用いる。

#### 参考文献

- 木下哲生 (2002) 「英語と意味のずれがある外来語」『現代日本語講座 第4巻 語彙』明治書院
- 『三省堂国語辞典』第五版 (2001) 三省堂
- 『学研国語大辞典』初版 (1978) 学習研究社
- 『岩波国語辞典』第六版 (2000) 岩波書店
- 『広辞苑』第四版 (1991) 岩波書店
- 『新明解国語辞典』第四版 (1989) 三省堂
- 『大辞林』第二版 (1995) 三省堂
- 『明鏡国語辞典』初版 (2002) 大修館書店
- 『類語大辞典』(2002) 大修館書店
- 『新和英大辞典』(1974) 研究社
- 『日本国語大辞典』第二版 (2002) 小学館
- プレム・モトワニ 『日常外来語用法辞典』(1991) 丸善